

第3回環境被害救済(環境紛争処理)日中国際ワークショップ

プログラム案(2005年11月19日)

主催:華東政法学院経済法学院

共催:上海市法学会、日本環境会議、中国政法大学公害被害者法律援助センター

協力:中国環境問題研究会ほか

報告等時間には日中逐次通訳の時間を含む

11月26日(土)

開幕式 9:00 9:30

座長:沈国明(上海市法学会会長・上海市人民代表大会法制工作委员会主任)

(一)華東政法学院院長挨拶

(二)日本環境会議理事長挨拶

(三)上海市(副)市長挨拶【調整中】

<休憩 15分>

セッション1 基調報告 9:45 11:45

座長:(中)【調整中】

(日)寺西俊一(一橋大学)

報告:(中)張梓太(華東政法学院)

「中国の環境紛争処理における制度的障害に関する分析」

(日)原田正純(熊本学園大学)「人類史に及ぼした水俣病の教訓 - 公害原論」

(中)孫健(上海市環境保護局)「上海市環境保護事業の情勢と展望」

<昼食>

セッション2 循環経済 13:30 15:20(各報告20分,質疑応答・討論40分)

座長:(中)【調整中】

(日)山下英俊(一橋大学)

報告:(中)鄭少華(華東政法学院)「循環経済の法哲学的意義」

李艶芳(中国人民大学)「循環経済の立法上の定義と内包」

(日)吉田文和(北海道大学)「日本の循環型社会の成果と課題」

植田和弘(京都大学)「中国の大気環境政策の分析と評価」

<休憩 10分>

セッション3 環境訴訟の事例分析 15:30 17:30(各報告20分,質疑応答・討論40分)

座長:(中)【調整中】

(日)片岡直樹(東京経済大学)

報告:(中)呂忠梅(湖北省高級人民法院)「環境侵権制度の開拓を追求して」

李摯萍(中山大学)

「公衆の権利擁護事件におけるチェック型公衆参加 - 環境影響評価制度 - 」

劉琳(南京第三律師事務所)

「事例分析 環境汚染権利侵害の一事件から環境汚染権利侵害事件における」

因果関係の証明問題を分析する」
(日)山之内桂(弁護士)「鉄道公害訴訟の実例報告」

<夕食>

11月27日(日)

セッション4 環境被害救済・紛争処理立法の諸問題 9:00 11:30
(各報告20分, 質疑応答・討論30分)

座長:(中)【調整中】

(日)加藤久和(名古屋大学)

報告:(中)孫佑海(全国人民代表大会環境・資源保護委員会)

「日本の環境救済の法律がわが国に示唆するもの」

王燦堯(中国政法大学)「中国の公害病訴訟とその法律問題の研究」

別涛(国家環境保護総局)(タイトル未定)

汪勁(北京大学)「環境公益侵害と紛争:訴訟を提起する権利は誰が有するか?

～中国における公民環境訴訟制度確立の必要性について～」

(日)村松昭夫(弁護士)「自動車排ガスによる健康被害に関する新たな救済制度の提言
について」

磯野弥生(東京経済大学)「石綿(アスベスト)被害救済と立法の課題」

総括 11:30 12:00(各報告15分)

座長:(中)【調整中】

(日)大久保規子(大阪大学)

報告:(中)【調整中】

(日)淡路剛久(立教大学)

閉幕